

## 防水工事業の新塗料開発・新市場開拓支援

事業者	支援機関・協力機関
株式会社 宮防	宮崎商工会議所

## 企業の概要

昭和46年創業の防水工事業。主に建築物に関わる防水工事などを請負う。従業員20名のうち多くが国家試験取得者の技能員であるため、外注を一部使うものの、主な工事の内製化を図ることで、きめ細かな対応と現場管理により顧客の信頼を得ている。売上高5億円。

## 支援の概要

## ◆ 支援の経緯

平成20年8月に県内建設業の大型倒産があり、その資金繰りについて商工会議所の金融窓口に相談があった。資金繰りでは職員が金融機関と一緒に訪問して親身に支援した。一方、当社では防水工事が年々先細りの中、事業の多角化を図るために専務取締役が中心になり新規事業部を立ち上げていたことから、新規事業支援を図ることとなった。

## ◆ 経営課題へのアプローチ

## ① 企業の強みと外部環境の機会を活かした新分野の選択

培ってきた塗装技術や作業ノウハウが活用でき、しかも宮崎の主産業である畜産業の畜舎の遮熱、あるいは全国展開を視野に入れた生コン車の遮熱という、ニッチな分野での課題解決に寄与する新市場を選択した。

## ② 販路開拓での具体的な支援

販路開拓は製品開発と並び重要課題であるが、中小機構の販路開拓コーディネーター事業を活用して、首都圏への販路を開拓した。

## ③ 大学等と連携した共同開発を活かす補助金採択支援

消波ブロック鋼製型枠用塗料や太陽光発電パネルへの被膜塗料開発、施工を含めたツール開発などをものづくり補助金採択で支援している。

## ◆ 支援成果

① 新規事業は4期連続で対前年比150%の勢いで増加し、年8,000万円の売上高に成長。

② ものづくり補助金採択による、新製品・新市場開発の加速度アップ。

③ 新事業による財務状況の大幅な改善。資本金ローン活用や新規金融機関との取引開始。

## 注目ポイント

## ◆ 親身な相談対応と支援体制

取引先倒産という緊急時に親身に対応し、「会議所は頼れる場所」という企業からの信頼を得たことが、その後の支援が円滑に行く要因となった。

## ◆ 担当者の異動にもスムーズに対応する、支援リレー方式

異動により支援担当者が変わった際にも支援の質を維持して続くように、相談対応にはできる限り別の職員も同席するなどして情報共有を図った。